

ひふみのあゆみ



ひふみワールド 追加型投信/海外/株式

2021年6月度 月次ご報告書

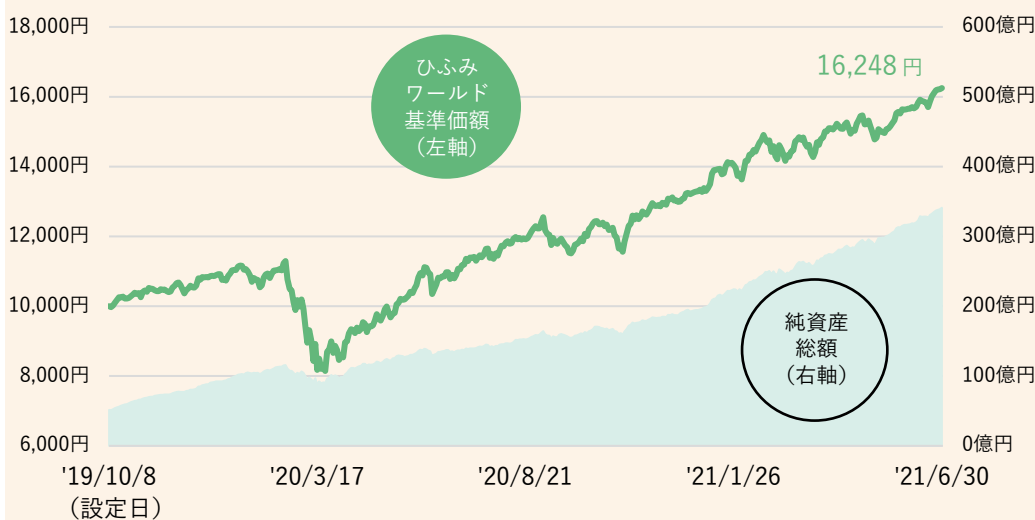
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2021年6月30日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、アメリカには米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	4.37%	9.85%	22.40%	49.02%	-	62.48%

ひふみワールドの運用状況

基準価額	16,248円
純資産総額	341.07億円
受益権総口数	20,992,099,781口

ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.26%
現金等	-0.26%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第2期	2021年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） +681円

〔内訳〕

株式・投資証券	+648円
アメリカ	+459円
欧州	+12円
アジア・オセアニア	+177円
その他	+0円
為替	+55円
米ドル	+82円
ユーロ	-22円
香港ドル	+9円
その他	-14円
信託報酬・その他	-21円

資産配分比率などの状況

ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 2,190.29億円

組み入れ銘柄数 155銘柄

資産配分比率

海外株式 89.91%

海外投資証券 1.37%

現金等 8.72%

合計 100.00%

時価総額別比率

10兆円以上 23.45%

1兆円以上10兆円未満 52.12%

3,000億円以上1兆円未満 14.43%

3,000億円未満 1.27%

組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 59.56%

2 中国 9.05%

3 ドイツ 4.57%

4 フランス 3.01%

5 香港 2.21%

6 イギリス 1.70%

7 スウェーデン 1.62%

8 カナダ 1.53%

9 台湾 1.43%

10 デンマーク 1.37%

組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 66.37%

2 香港ドル 8.43%

3 ユーロ 8.17%

4 中国元 1.71%

5 台湾ドル 1.43%

6 デンマーク・クローネ 1.37%

7 イギリス・ポンド 1.09%

8 スウェーデン・クローナ 0.81%

9 オーストラリア・ドル 0.78%

10 ノルウェー・クローネ 0.77%

組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 13.21%

2 資本財 11.36%

3 各種金融 9.33%

4 半導体・半導体製造装置 8.57%

5 小売 6.72%

6 メディア・娯楽 6.22%

7 耐久消費財・アパレル 5.10%

8 ヘルスケア機器・サービス 5.03%

9 自動車・自動車部品 3.76%

10 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 3.35%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

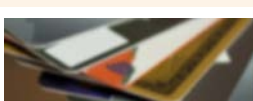
※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を基に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
	銘柄紹介				
1	DEUTSCHE POST AG	ドイツ	ユーロ	運輸	1.49%
		世界200以上の国・地域に展開するドイツ発の郵便・物流大手企業。ドイツ郵便の民営化を経て事業領域を拡大、国際輸送のDHLエクスプレス、フォワーディング、Eコマース向け物流サービス等を手掛ける。航空貨物や海上コンテナの需給がひっ迫する中で、自社アセットを活用して業績拡大中。			
2	NVIDIA CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.27%
		画像処理装置(GPU)の世界的な大手。引き続きゲーム用途や映像制作でも高い成長が見込める他にも、自動運転などに利用される画像の自動認識やAIなどへの用途拡大により成長率の高まりが期待される。			
3	BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC.	カナダ	米ドル	各種金融	1.27%
		資産運用会社。株や債券などの伝統的資産ではなく、流動性の低い不動産、インフラ、プライベート・エクイティ、再生可能発電セクターに注力する。世界的な利回りの低下を背景に事業が拡大している。			
4	GENERAC HOLDINGS INC.	アメリカ	米ドル	資本財	1.23%
		家庭用発電機メーカー。米国の災害に弱く、停電を頻発させる脆弱な電力網を背景に、緊急時のバックアップ電源を家庭向けに販売している。			
5	GENERAL MOTORS COMPANY	アメリカ	米ドル	自動車・自動車部品	1.22%
		米国の自動車メーカー。SUVやピックアップトラック等、アメリカ人好みの大型車を得意とする他、電気自動車の開発についても米系自動車メーカーでは最も経験を積んでおり、将来的な対策も万全。			
6	ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.21%
		コンサルティングサービス会社。経営・技術に関するコンサルティングサービスおよびソリューションを提供。世界中の各業種を対象とした特殊技術とソリューションに従事。			
7	ANTA SPORTS PRODUCTS LIMITED	中国	香港ドル	耐久消費財・アパレル	1.20%
		中国大手スポーツウェアメーカー。傘下にANTAブランドと買収したFILAの中国事業を持つ。強い実行力を持った創業家の下で、オーガニックの成長と買収という両輪を持って、今後も中長期的に大きく成長していくと思われる。			
8	AMERICAN EXPRESS COMPANY	アメリカ	米ドル	各種金融	1.14%
		クレジットカード会社。ネットワーク運営のみでなく、自社で最終顧客への与信、カード発行を行なう。コーポレートカード、航空、旅行、飲食での決済が多いことから、脱コロナ、正常化の恩恵が期待される。			
9	CAPITAL ONE FINANCIAL CORPORATION	アメリカ	米ドル	各種金融	1.13%
		消費者向け総合金融。クレジットカード事業を祖業とするが、買収を通じて多角化し、店舗を有する銀行事業にも進出して、多様な消費者向けの金融サービスを提供している。			
10	FIRST REPUBLIC BANK	アメリカ	米ドル	銀行	1.10%
		米国の地方銀行。顧客層を富裕層の個人に絞っており、堅調な米国住宅市場を背景に残高成長率も高い他、リレーションシップマネージャーが長期間かけて構築した良質な関係を背景に資産運用事業も新たな成長ドライバーとなるなど、低成長に喘ぐ銀行セクターでは珍しい成長企業。			

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 +1.74%

米ドル／円の推移



当月騰落率 +0.75%

ユーロ／円の推移



当月騰落率 -1.62%

香港ドル／円の推移



当月騰落率 +0.71%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを基に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。



米国CPI（消費者物価指数）上昇からインフレ懸念が台頭し、米国株式市場は一時急落する場面もありましたが、パウエルFRB議長が予防的利上げの考えを議会証言で否定したことから、早期利上げに対する過度な警戒感が和らぎ、その後の市場は回復しました。世界の株式市場も米国利上げ懸念の後退から上昇し6月を終えました。このような環境下、6月のひふみワールド基準価額は前月末比4.37%上昇し、16,248円となりました。

インフレ懸念が高まったものの、テーパリング（資産買入の減額）は金融引き締めではないこと、利上げは2023年に2回程度であろうことなどが見えたことで、市場参加者に安心感が広がりました。長期金利は下落し、貴金属類の商品価格も下落した一方、原油価格は経済再開への期待から上昇しました。

欧州市場は、英国中央銀行が金融緩和策を維持したことや、6月ユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）が15年ぶりの高水準となったことなどが牽引し上昇しました。6月のドイツIFO企業景況感指数（ドイツIFO経済研究所が同国内約7,000社を対象に現況と今後6ヶ月の先行き業況感をアンケート調査したもの）が101.8と2年6ヶ月ぶりに基準となる100を超えるなど回復傾向が顕著ななか、新型コロナウイルスワクチン接種状況と検査結果を証明する「デジタルパス」運用が7月から欧州域内で開始される予定などから、バケーションシーズンに向け景気回復が一層進展する期待値が高まりました。

景気先行き懸念から自動車、素材関連が軟調な展開となる中国市場は横ばいとなっています。中国共産党創立100年を迎える7月以降の動向を注視しています。

引き続きひふみワールドをよろしくお願いいたします。



代表取締役副社長
未来戦略部長
ひふみワールド運用責任者
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。



ワクチン接種進展で経済正常化に向かう主要国市場

コロナ禍対応から経済再開モードに転じる米金融政策

米国の金融政策は6月のFOMC（連邦公開市場委員会）でこれまでのコロナ禍対応から経済再開モードへ転換が明確になりました。4～6月期の米国経済は大規模な金融・財政政策に加えて新型コロナワクチンの接種進展から、雇用回復をはじめ景況感の改善が顕著になり、物価がFRB（連邦準備制度理事会）の想定を上回るなど、上ブレが鮮明になりました。コロナ禍で進められてきたFRBの大規模金融緩和政策は今年下期に正常化に踏み出す可能性が強まってきました。手順は、大規模な資産買入れ（現状1,200億ドル/月）の解除に向けて、資産買入れの減額措置（テーパリング）の事前告知⇒テーパリングの決定⇒同開始とみられます。さらに最大雇用や物価2%超の軌道乗せなどの条件が整ったところで利上げに踏み切るでしょう。6月のFOMCでは最初の利上げ時期が2023年とこれまでの24年から参加メンバーの見通しが前倒しになりました。テーパリングの事前告知～開始の間には、市場の混乱回避のため数ヵ月程度の期間がとられそうです。テーパリングのプロセスなどが示されそうな事前告知は8月26～28日のジャクソンホール会合（各国中銀首脳が集う経済シンポジウム）の可能性が高いとみられます。

主要国の債券・株式市場などに大きな影響を与える米10年国債利回りが米金融政策の正常化の中でどのように動くのか要注目です。FRBが前回（2014年1～12月）に行なったテーパリング時には、その前に上昇していた米10年国債利回りは、先行した織り込みに加えてテーパリングによる景気・物価の鈍化観測などからむしろ低下基調を辿りました。今回の米10年国債利回りは2020年8月上旬の0.5%をボトムに21年3月末の1.7%に向けて、経済再開・回復（+金融政策の正常化）を先取りする形で1.2%の大幅上昇となりました。4月以降は景気・物価が実際に上ブレする中で、米10年国債利回りは横這い～軟化基調になっています。今後、実際のテーパリングが実施されても米10年国債利回りは上昇せず、むしろ横這い～軟化基調を辿る可能性が十分にあり得そうです。

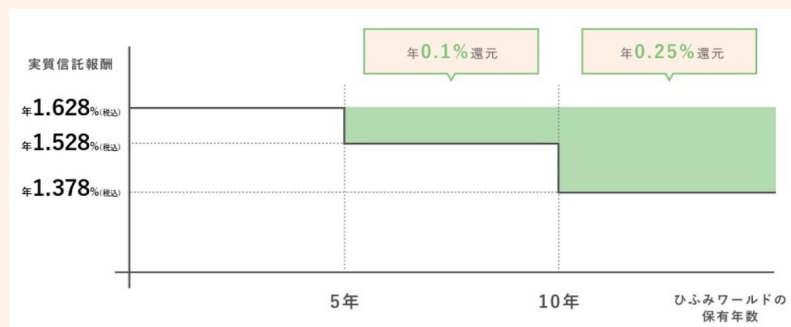
主要国の経済活動や景況感は新型コロナのワクチン接種率（＝ワクチン接種者数／人口）との相関が高くなっています。ワクチン接種が進む欧米では集団免疫獲得に近づき、活動制限の緩和や経済再開の動きが広がっています。変異種拡大が不安材料ですが、死亡者数が大幅に減少するなど重症化リスクが低減されており、消費者心理や企業マインドの改善が顕著になっています。上記の米国に加えて4～6月期の欧州経済もサービス産業など内需の回復が顕著になっています。ワクチン接種が遅れていた日本でもワクチン接種率（少なくとも1回）は20%を突破し、秋口にかけて加速化が予想され、コロナ禍で打撃が大きかったサービス産業の回復など、7～9月期の日本経済は上ブレが期待されます。一方で、ワクチン接種の南北格差の解消がグローバルな経済活動の回復に不可欠になりそうです。

今後の主要国株式市場は、米国を先導役に経済活動の正常化と景気や企業収益の好転を支えに「EPS（1株当たり税引後利益）の拡大」が株価上昇の原動力になる業績相場の様相が強まりそうです。一方で長期金利の上昇はPER（株価収益率）の押下げなど波乱要因になりそうですが、上述のようにテーパリング実施に際して米長期金利が横這い～軟化基調を辿る可能性があり、その場合にはPERは押下げとならないでしょう（主要国株価の波乱回避）。4～6月期決算発表が7月後半～8月前半に行なわれますが、上方修正の流れと推察され、主要国株価は経済・企業収益拡大が主導する形で上昇基調を辿るとみられます。

(7月3日)

資産形成応援団

資産形成応援団とは、直販で5年以上保有いただいているひふみワールドについて、信託報酬の一部を当社がお客様に還元することにより、信託報酬を実質的に割引く、という日本で初めて導入された仕組みです。



5年以上、または10年以上継続して保有されている受益権口数に対して応援金を還元いたします（受益権とはひふみワールドをご購入いただいたお客様が、ひふみワールドの利益を受けることができる権利のことです。）。

応援金還元率は受益権口数に係る資産残高の年率0.1%（5年以上分）、0.25%（10年以上分）です。応援金は、新たにひふみワールドを買付ける資金に充当いたします（原則として、現金のまま、お渡しすることはありません。）。

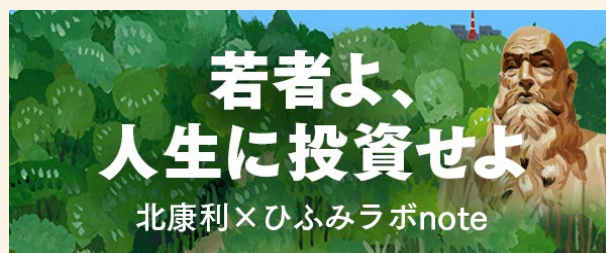
ひふみラボnote、絶賛更新中！

<https://labo.rheos.jp/>

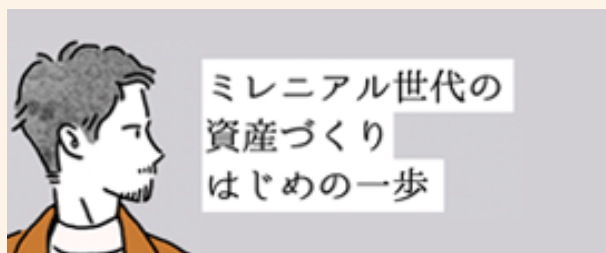
ちょっととっつきにくいと思われがちな「投資」のこと、「お金」のこと。本当の楽しさ、おもしろさを伝えたくて、あれこれ研究する「ひふみラボnote」では様々な角度で楽しめる記事を連載中です！



『くそつまらない未来を変えられるかもしれない投資の話』の著者であるヤマザキOKコンピュータさんによる連載です。



作家・北康利さんが、日本林学の父と呼ばれる本多静六氏の投資哲学を現代に伝える連載です！毎週金曜日更新！一緒に読書をしていきましょう！



ひふみラボnoteスタート時から人気の連載！noteのディレクターをされている平野太一さんが資産づくりに挑戦。貯金ゼロからのスタートで「お金とこれから」に、向き合っていました。

収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。
元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

占いは信じますか？信じる理由、信じない理由も教えて下さい。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

占いは信じません。しかし、人生には運や勢いがあるし、そのようなものが大事であるということは強く感じています。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
未来戦略部長

統計学をベースとした「占い」の場合には利用するに耐えうる可能性があること、結果を通訳する通訳者の経験、人間力、技量などでエンハンスできること、「ツール」として利用できることなどを信じています。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

人類の長い経験則をふまえた統計的アプローチとしてみれば信じられる部分があるのではないかと思います。くわえてわたしたちの生体や社会メカニズムにも自然現象などが作用していることは十分に考えられるので、そういう意味でも否定はできないと思います。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

昔から神社仏閣は好きでよく行きますが、神様仏様にすがりお願いをするというより、あの静謐な空間に身を置き古の建築物に思いを馳せ、そして自分の気持ちを整理し心に誓いを立てることが目的です。しいたけ占いはエンタメとして好きでよく読んでいますが、その内容を逐一信じていますかと聞かれると信じていません、ということになります。以上をざっくりまとめるとこうなります。
「信じるか信じないかはあなた次第」



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

「信じない」の嵐のなかで書きづらいのですが、信じています。バーナム効果という言葉をご存じでしょうか。「誰にでも当てはまる要点」で占いの文章を作ると、読んだ本人はかなりの確率で当たったように感じるというカラクリのことです。例えば「あなたは意外にも真面目なところがある」と書かれたら違うとは言い切れないと思います。占いというのは大抵これがベースになっています。じゃあ、そこまで分かっている何を信じるのか。未来を予見するためにも無いことは無いのですが、自分のメンタルの状態を確認するために読んでいます。「7月はラッキーです」と読んで嬉しく感じたら落ち込んでいますし、逆なら調子に乗りすぎている。その確認のためですが、しいたけ占いはお勧めです。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

高校時代に星座にハマったことはありましたが、今はニュートラルです。人生の最終的な結果は死ですので、それは占わなくても100%当たります。それまでのプロセスは、映画と同じように、ネタバレしない方が楽しいですし、よいかどうかは捉え方次第ですので、本気で占いをやる気はありません。シュレーディングの猫のように、箱の中を覗いてしまうと中身が変質してしまうと思います。常にやっているのは、人事を尽くして天命を待つということでしょうか。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

信じませんし興味もありません。業界としてまともな人が行くと思えないからです。

運用メンバーからのメッセージ



Ono Shotaro
小野 頌太郎
シニア・アナリスト

おみくじを引いて一喜一憂してるので、理由はわかりませんが信じているかもしれません。しいたけ占いは面白いと思います。



Katata Yuta
堅田 雄太
シニア・アナリスト

信じていませんが、ラッキーアイテムは〇〇ですと言われると〇〇を探してしまいます。占いの結果に縛られるのも嫌なので、見ないようにしています。でも、気になってしまいます。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

普段の生活で意識した事がないので、おそらく信じていないのだと思います。テレビや雑誌で目にしても、楽しむくらいに留めます。信じない理由は特にわかりません。深入りすると、深層心理でブレーキをかけているのかもしれませんが（笑）。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト

占いの予見性に関してアウトオブサンプルでの検証結果を見たことがないので、信じていません。占いとの付き合い方に関しては、占いを目にしてしまうと気になってパフォーマンスを落とす可能性があるので、意図的に距離を置いています。



Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

占いは信じないですが、おまじないに近いルーティンのようなものに頼ることはあります。想定外の事態が起きても平常心を保ち目の前のやるべきことに集中できるよう、思いつく手は全て打つということを意識しています。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

占いには興味がありませんし、信じていないですが、半面で神社・仏閣にお参りしている自分があります。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

信じません。小学校～大学までの教育って、おそらく占いのようなものを信じない人間を作るためにある気もします（笑）。決して悪いものだとは全く思いませんが。

ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみらいとの特色（ご参考）

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- ・ 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・ 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられ、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：（ひふみワールド）三菱UFJ信託銀行株式会社
（ひふみ投信）三井住友信託銀行株式会社
（ひふみらいと）三井住友信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：（2020年4月6日より）営業日の10時～16時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式	追加型投信／内外／資産複合
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日	2021年3月30日
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	解約の請求受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
換金代金	解約の請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。		解約の請求受付日から起算して6営業日目から支払われます。
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628%（税込） を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078%（税込） を乗じて得た額	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して 年率0.55%（税込） を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率0.0022%（税込） 実質的な負担※：純資産総額に対して 年率0.5522%（税込）程度
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。		
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（上限年間99万円（税込））	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（上限年間88万円（税込））	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（上限年間99万円（税込））
	上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。		投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。